

R 4 . 1 . 21
市町振興課
(089-912-2212)

衆議院小選挙区の区割り改定に対する愛媛県知事の意見について

衆議院議員選挙区画定審議会から照会のあった衆議院小選挙区の区割り改定に対する愛媛県知事の意見について、本日付けで下記のとおり同審議会に回答しました。

1. 区割りの改定案の作成方針について

人口較差の基準については、頻繁に選挙区の区域変更が繰り返されることのないよう、長期的な人口見込みを踏まえたものが望ましい。

また、選挙区は、地域の代表者を選ぶ基礎となるものであることから、人口較差だけではなく、行政区画、地勢、交通、生活圈、面積その他の自然的社会的条件を十分考慮したものが望ましい。

2. 現行の区割りについて

本県では、現状において、選挙区が東予・中予・南予という生活・経済圏を分断し、かつ、松山市の区域を分割しており、地域の実情と合致した選挙区が設定できる制度となることを望む声は根強い。

3. 区割り改定案の作成について

本県では、頻繁に選挙区の区域変更や市の分割が繰り返されることのないよう、長期的な人口見込みを考慮し、今回の見直し後の区割りが長期に安定したものとする観点からは、松山市の分割も避けられない一方で、松山市を始め、行政区の分割はすべきではないという強い要望がある。

具体の選挙区画定に当たっては、これまでの区割りの変遷や地域の一体性などの観点から地元自治体に根強い懸念があり、地域の実情を踏まえ、地勢、交通、面積、東予・中予・南予という生活圈その他の自然的社会的条件や長期に渡る安定性を総合的に考慮して、慎重に検討されたい。

4. その他

一票の較差是正のため頻繁に選挙区の区域変更が繰り返されることにより、候補者と地域の関係がその都度変更されることになるとともに、地域の一体性を加味せず実情を捨象した区割りとなってしまう。その結果、同じく憲法上の要請である民主主義が果たされない歪な状況にもなりかねず、これは、決して望ましいことではない。

衆議院議員の選挙制度については、定数削減を早急に検討するとともに、投票価値の平等を小選挙区と比例代表を合わせた全体で考えるなど、現行制度に対する様々な指摘を踏まえて抜本的な見直しを検討することが必要である。